

各都道府県・市町村教育委員会 様
各国立・公立・私立中学校長 様
関 係 者 様

第 6 1 回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会
大 会 会 長 神 谷 祥 久
(島根県中学校技術・家庭科研究会 会長)

第 6 1 回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会
第 3 7 回島根県中学校技術・家庭科研究大会
島根大会のご案内(最終案内)

この度、令和 5 年度中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会を、島根県松江市を会場に開催いたします。
本年度は、研究主題を「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～問題解決的な学習の取組を通して～」と設定し、本教科のより一層の充実と発展を目指して、研究を進めております。
つきましては、貴職をはじめ、本教科担当の先生方、及び関係各方面から多数のご参加をいただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

大 会 開 催 要 項

- 1 主 催 全日本中学校技術・家庭科研究会
中国・四国地区中学校技術・家庭科研究会
島根県中学校技術・家庭科研究会
- 2 後 援 中国・四国地区各県教育委員会 松江市教育委員会
島根県中学校長会 島根県教育研究会
公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会 島根県産業教育振興会
一般財団法人 島根県教職員互助会
公益社団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
一般財団法人 くにびきメッセ
- 3 期 日 令和 5 年 1 0 月 1 8 日 (水) 中国・四国地区理事研修会
1 9 日 (木) 全体会・提案分科会 (8 分科会)
2 0 日 (金) 公開授業・授業分科会 (8 分科会)
- 4 会 場 (1) 中国・四国地区理事研修会
サンラポーむらくも
〒690-0887 島根県松江市殿町 3 6 9 番地 TEL 0852-21-2670

(2) 全体会・提案分科会
島根県民会館
〒690-0887 島根県松江市殿町 1 5 8 番地 TEL 0852-22-5506

(3) 授業分科会

分野・内容	学校名	学校所在地	電話
技術 A	松江市立第一中学校	松江市外中原町 46	0852-21-4746
技術 B	松江市立第二中学校	松江市西川津町 3402-1	0852-21-0303
技術 C	松江市立義務教育学校玉湯学園	松江市玉湯町湯町 717	0852-62-0020
技術 D	松江市立第二中学校	松江市西川津町 3402-1	0852-21-0303
家庭 A	松江市立義務教育学校玉湯学園	松江市玉湯町湯町 717	0852-62-0020
家庭 B 1	松江市立第二中学校	松江市西川津町 3402-1	0852-21-0303
家庭 B 2	松江市立宍道中学校	松江市宍道町宍道 351	0852-66-0854
家庭 C	松江市立第一中学校	松江市外中原町 46	0852-21-4746

- 5 研究主題 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～問題解決的な学習の取組を通して～」

6 主題設定の理由

近年、グローバル化や少子高齢化、第4次産業革命といわれる人工知能(AI)や自動制御の技術の進歩など、子どもたちを取り巻く社会は、大きく変化している。また、地球温暖化をはじめとする地球環境の変化や新型コロナウイルスの感染拡大など、人類が未だかつて経験したことのない様々な問題に直面している。このような予測困難で大きな変化をし続ける社会を逞しく生き抜くためには、社会の変化に主体的に対応し、直面する様々な問題を解決する資質・能力を身につけることが必要不可欠である。

令和3年度より全面実施となった学習指導要領では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指すことが示された。これを受け、本県の実態把握を行った結果、教員の多くが「生徒の問題発見、課題設定、課題解決の力」を育む必要性があると感じているが、実施率、内容ともに十分ではないという実態が明らかとなった。以上のことより、本研究会では、基礎的・基本的な知識及び技能を活用し、社会の変化に主体的に対応するために必要な、生活を工夫し創造する資質・能力を育むことを目指し、研究主題を「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～問題解決的な学習の取組を通して～」と設定した。

7 講師並びに指導助言者

全体会

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 渡邊 茂一 様

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 熊谷 有紀子 様

提案発表分科会・授業分科会

中国・四国地区各県教育委員会指導主事 及び 中国・四国地区教育関係機関関係者

8 日程

○10月18日(水) 中国・四国地区理事研修会

14:30 15:00 17:00

受付	中国・四国地区 理事研修会
----	------------------

○10月19日(木) 全体会・提案発表分科会(中国・四国地区 生徒作品展)

9:30 10:00 11:00 12:30 13:30 16:30

受付	全体会				昼食 移動	提案発表分科会	
	開会式	全体発表	指導講評 (講演)	閉会式		研究協議 指導講評	
	生徒作品展						

○10月20日(金) 公開授業・授業研究分科会

9:00 9:30 9:50 10:40 12:20

受付	オリエン テーション	公開授業	授業研究 指導講評
----	---------------	------	--------------

【参加申込みQRコード】



9 大会参加費等

- (1) 大会参加費(※資料参加のみも可能) 4,000円(資料代含む)
- (2) 10月19日(木)の昼食弁当代(希望者) 1,000円(会場周辺は飲食店少ない)

10 大会参加の申込み

- (1) 申込期間: 令和5年7月10日(月)～8月23日(水)
- (2) 申込方法: 右記申込フォームまたは島根県中学校技術・家庭科研究会Webページより申し込む
- (3) 入金方法: 下記の大会口座(JAバンク)宛、8月23日(水)までに大会参加費4,000円を振り込む

【振込口座】島根県農業協同組合(JAしまね)津田支店 (普通)0074469
「中国・四国地区中学校技術・家庭科研究会(島根大会) 実行委員長 吉野敦博」

※依頼人名(振込人名)は、「県名 氏名」としてください。(例:「シマネ ヨシノタロウ」)

※振込手数料がかかる場合はご負担をお願いします。(JAしまねATMからは無料。他県JAのATMからは0～110円)

11 宿泊および昼食弁当(10/19(木)のみ)の申込み

- (1) 申込期間: 令和5年7月10日(月)～8月31日(木)
- (2) 申込方法: 別紙「宿泊・昼食弁当申込要項」により、東武トップツアーズ松江支店あてFAXで申し込む
- (3) その他: 「弁当のみ注文(宿泊予約なし)」した場合は、事前入金せず当日の現金引換も可能

12 大会事務局

大会実行委員長(事務局長)

〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂931番地 松江市立八雲中学校内 吉野 敦博

TEL: 0852-54-0014 FAX: 0852-54-2150 E-mail: atsu-2010wm@voice.ocn.ne.jp

1 3 指導助言者・提案発表者・授業者

【指導助言者】

分野・内容	指導助言者（開催県（島根県））	指導助言者（開催県以外）
技術 A (材料と加工の技術)	後藤 康太郎 (松江市教育委員会 教育指導官)	妹尾 雅史 (岡山市教育研究研修センター 指導副主査)
技術 B (生物育成の技術)	小谷 信介 (島根県教育センター浜田教育センター 指導主事)	有田 貴信 (広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事)
技術 C (エネルギー変換の技術)	橋爪 一治 (島根大学教育学研究科 教授)	西村 淳 (防府市教育委員会学校教育課 指導主事)
技術 D (情報の技術)	岩橋 正博 (大田市立第一中学校 教諭)	漆原 真一 (鳥取県教育委員会事務局東部教育局 指導主事)
家庭 A (家族・家庭生活)	鎌野 育代 (島根大学教育学部 准教授)	柴田 明子 (徳島県教育委員会学校経営支援課 指導主事)
家庭 B 1 (衣食住の生活(食))	秋月 広美 (島根県教育センター 指導主事)	関野 幸恵 (愛媛県教育委員会義務教育課 指導主事)
家庭 B 2 (衣食住の生活(衣住))	小西 久美子 (宍道高等学校 教頭)	池下 香 (丸亀市立綾歌中学校 教頭)
家庭 C (消費生活・環境)	井上 富美子 (島根大学教育学部 特任教授)	小島 郷子 (高知大学教育学部 教授)

【提案発表者 及び 授業者】

分野・内容	提案発表者（10/19(木)）		授業者（10/20(金)）
	開催県（島根県）	開催県以外	
技術 A (材料と加工の技術)	朝津 順平 (安来市立第三中学校) 「よりよい生活を営むために、身のまわりの課題を解決しよう ～問題解決的な学習の取組を通して～」	白神 康弘 (笠岡市立笠岡西中学校) 「よりよい生活の実現に向けた自由設計による問題解決の学習指導の工夫 ～思考の広がり意識した材料と加工の学習を通して～」	渡辺 真介 (松江市立第一中学校) 「身近な生活の中から、丈夫な構造体を利用して解決できる問題を解決しよう」
技術 B (生物育成の技術)	立木 光史 (邑南町立瑞穂中学校) 「技術の資質・能力を育成する問題解決学習の工夫 ～地域資源を活用した見方・考え方の育成～」	山田 祐希 (東広島市立西条中学校) 「予測困難な時代を生き抜く資質・能力を育む技術・家庭科教育 ～生物育成の技術における主体的・実践的に技術を工夫し創造しようとする力を育む題材開発～」	錦織 充宏 (松江市立第二中学校) 「持続可能な社会の構築に向けて作物の育成環境を調節しよう」
技術 C (エネルギー変換の技術)	石倉 義夫 (出雲市立浜山中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～現代の地域や社会の問題を見だし、課題を設定し解決する学習過程の工夫～」	瀬尾 優治 (柳井市立柳井中学校) 「問題発見と課題設定を重視した、うみぶどうを用いた複合題材の授業構想と展開」	瀬崎 邦博 (松江市立義務教育学校玉湯学園) 「高齢者が暮らしのなかで困っている問題を解決しよう ～テクノロジーによる自立支援～」
技術 D (情報の技術)	竹田 雄一 (出雲市立第三中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～地域社会の中から情報の技術に関する問題を見だし、課題を設定し解決する実践を通して～」	西村 公秀 (鳥取大学附属中学校) 「プログラミングによる社会問題の解決を強く意識させる導入的授業の実践」	兼折 泰彰 (松江市立第二中学校) 「仲間と安全・安心に利用できるメッセージアプリを開発しよう」
家庭 A (家族・家庭生活)	桐原 加奈 (出雲市立第三中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～地域を支える一員であることを自覚し、地域の人々と協働しようとする生徒の育成を目指して～」	篠原 かほり (徳島市加茂名中学校) 「新しい時代に求められる資質・能力を育む授業実践 ～実生活との関連を図った指導方法の工夫～」	門脇 洋子 (松江市立義務教育学校玉湯学園) 「たまゆ文化祭応援プロジェクト」
家庭 B 1 (衣食住の生活(食))	寺戸 志帆 (大田市立第一中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～地域の食材を生かした料理を広める取組を通して～」	大黒 智子 (愛南町立城辺中学校) 「よりよい食生活を創造し、社会を支える資質・能力の育成 ～「見方・考え方」を働かせた食生活に関する学習活動を通して～」	山崎 瑞葉 (松江市立第二中学校) 「健康によい中学生の1日分の食事」
家庭 B 2 (衣食住の生活(衣住))	岡本 和宏 (知夫村立知夫小中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～布を有効活用して生活を豊かにする学習の取組を通して～」	大塚 美弥・眞邊 国子 (まんのう町立満濃中学校)(善通寺市立東中学校) 「社会の変化に主体的に対応し、よりよい生活を工夫する技術・家庭科教育 ～家族の安全を考えた住空間にするために～」	金築 祐子 (松江市立宍道中学校) 「健康・快適で持続可能な衣生活」
家庭 C (消費生活・環境)	玉木 美香 (出雲市立斐川東中学校) 「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成 ～My しまね ECO プランの取組を通して～」	土居 由佳 (高知市立西部中学校) 「生活の営みをよりよくする「見方・考え方」ができる生徒の育成 ～自分の生活とつながりを持たせた学習活動を通して～」	青木 佳美 (松江市立第一中学校) 「自立した消費者を目指そう ～消費生活を通して持続可能な社会をつくろう～」

1 4 会場案内図

(1) 島根県民会館（10月19日(木) 全体会・提案発表分科会）



(※「県民会館駐車場」と「タイムズ畑町駐車場」は3時間無料)

(2) 授業分科会会場（10月20日(金)）

【松江市立第一中学校】



【松江一中周辺図】



【松江市立第二中学校】



【松江二中周辺図】



【玉湯学園周辺図】



【松江市立宍道中学校】

【松江市立義務教育学校 玉湯学園】



【宍道中周辺図】

